



冬はボウリングのシーズン!?



全日本実業団都市対抗選手権大会



全日本大学個人選手権大会



全日本クラブ対抗選手権大会

JBCの年間スケジュールは、5月のNHK杯に始まって3月の全日本選手権まで、実に23もの全国大会で彩られています。なかでも1月末から2月にかけてはクラブ対抗、実業団都市対抗、年齢別、大学個人と4つの大会が立て続けに開催される過密日程ですが、選手にとってはオンシーズンと言えるかもしれません。チーム戦あり、個人戦ありのこの期間、試合勘を磨いたトッププレイヤーたちは、いよいよ総決算の全日本選手権へカウントダウンを始めました。



全日本年齢別選手権大会

- 2～3面 イベントレポート、第47回全日本大学個人選手権大会
4～5面 第31回全日本年齢別選手権大会
6面 第44回全日本クラブ対抗選手権大会
7面 第33回全日本実業団都市対抗選手権大会
8面 INFORMATION、ナショナルチーム通信、TOP BOWLER



KING OF BOWLING

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ!」 文部科学大臣杯 第54回全日本ボウリング選手権大会 〈スポーツ振興基金助成事業〉

平成28年3月18日(金)～21日(月・祝)

- 主催** 公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援 スポーツ庁
公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 日本オリンピック委員会
愛知県教育委員会
公益財団法人 愛知県体育協会
稲沢市
稲沢市教育委員会
稲沢市体育協会
稲沢市ボウリング協会
全国ボウリング公認競技場協議会
主管 愛知県ボウリング連盟

**GUINNESS
WORLD
RECORDS**

世界最大のボウリング場
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)

ギネス世界記録認定を受けた
「世界最大のボウリング場」で、
リニューアルされた
「プロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133

www.grandbowl.jp/inazawa



公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp

川上諒

千葉商科

石本美来

岡山商科

が王者に



川上諒



石本美来



女子の部入賞者



男子の部入賞者

女子の部

予選1ゲーム目、谷原美来（朝日大学）が290、今井双葉（熊本学園大学）も289、松尾星伽（愛知大学）は287とビッグゲームのラッシュが起った。698として今井をトップに、松尾、谷原と古田このみ（静岡大学）が2マーク差内でトップ集団を形成して2回戦を迎える。松尾は658にまで上り、首位に立ったが、708と打ち上げた山口奈瑠美（日本経



吉岡常務理事



学連佐藤委員長

済大学）が2位に浮上し、3位以下とは6マークの差がついた。

松尾に66ピン差の4位に後退していた今井だったが、3回戦では730とし再びトップに。2位に留まった山口には、逆に65ピンの差をつけて見せた。そして予選最後の4回戦、スコアの伸び悩んだ今井だったが2位以下も苦戦して1位通過を決めた。古田奏絵九州女子大学をマークして6位から2位へ、石本美来（岡山商科）も7位から3位へと順位を上げて、上位24名が準決勝へと駒を進めた。今井と古田の差はちょうど50ピン。一方古田から6位ま

男子の部

1回戦のトップは773をマークした内藤慎之介（京都産業大学）。2位の宮田慶輝（青森中央学院大学）に63ピン差をつけた一方、その宮田から13位まではわずか19ピン差という大混戦のスタートとなった。2回戦では和田敏孝（名古屋産業大学）が765をマークして抜け出した。内藤は1400台に乗せるも和田とは4マーク差、白川大貴（青森中央学院大学）も1400UPして3位で続いた。3回戦で697の内藤は再びトップに立った。2位に浮上してきた石川新（青森中央学院大学）は21ピン差。ここまで首位の交替が繰り返され、徐々に首位と2位の差が縮まってきた。そして4回戦では石川が2745で1位、宮田が2733で2位につけて準決勝を迎えることに。準決勝には上位48名が進出。前半で宮田が652にまで上り、首位に立つと、4位につけていた川上諒（千葉商科

では36ピンという混戦模様。準決勝の前半は651の今井に対して古田が646と大きな変動はなく、2位争いも依然混沌としたままで後半に入ったが、今井はここで681とスパートを見せた。2位に上ってきた松尾との間に107ピン差をつけて、上位12名による決勝戦を迎えた。（ここまで順調にリードを広げてきた今井だったが、決勝に入ってから乗せられず苦戦。そこへ6位通過の石本が246、249と猛チャージをかけて、最終ゲームを前に18ピン差まで追った。完全にレーンをつかんだ石本は最後も245。ついに今井を抜き去って、1年生での初優勝をつかんだ。

産業大学）。2位の宮田慶輝（青森中央学院大学）に63ピン差をつけた一方、その宮田から13位まではわずか19ピン差という大混戦のスタートとなった。2回戦では和田敏孝（名古屋産業大学）が765をマークして抜け出した。内藤は1400台に乗せるも和田とは4マーク差、白川大貴（青森中央学院大学）も1400UPして3位で続いた。3回戦で697の内藤は再びトップに立った。2位に浮上してきた石川新（青森中央学院大学）は21ピン差。ここまで首位の交替が繰り返され、徐々に首位と2位の差が縮まってきた。そして4回戦では石川が2745で1位、宮田が2733で2位につけて準決勝を迎えることに。準決勝には上位48名が進出。前半で宮田が652にまで上り、首位に立つと、4位につけていた川上諒（千葉商科

第47回全日本大学個人ボウリング選手権大会
成績表

男子 213 名 平成28年2月22日（月）～24日（水）
女子 38 名 合計 251名 神奈川・川崎グランドボウル

《男子の部（21G）》

優勝	川上 諒	（学生連合・千葉商科大学）	4649
準優勝	吉田 健大	（学生連合・名古屋産業大学）	4626
第3位	内藤 慎之介	（学生連合・京都産業大学）	4626
第4位	志摩 竜太郎	（学生連合・岡山商科大学）	4587
第5位	山本 大貴	（学生連合・愛知工業大学）	4585
第6位	八 鍬 良太	（学生連合・東京電機大学）	4564
ハイゲーム	山本 大貴	（学生連合・愛知工業大学）	299
ハイリズ	櫛 笥 亮圓	（埼玉・大正大学）	776

《女子の部（21G）》

優勝	石本 美来	（学生連合・岡山商科大学）	4527
準優勝	今井 双葉	（熊本・熊本学園大学）	4494
第3位	松尾 星伽	（愛知・愛知大学）	4462
第4位	松田 未佑	（福岡・西南学院大学）	4455
第5位	古田 奏絵	（福岡・九州女子大学）	4420
第6位	渡 邊 紗羅	（愛知・愛知大学）	4391
ハイゲーム	谷原 美来	（岐阜・朝日大学）	290
ハイリズ	松田 未佑	（福岡・西南学院大学）	743



H/G、H/S(左から)谷原、山本、松田、櫛笥

川上 諒	男子優勝	20歳
使用ボール	Haywire(15p)	千葉商科大学
公認ドライバー	黒羽正行	(公認No. 0091-09)
石本美来	女子優勝	18歳
使用ボール	Code Purple(15p3oz)	岡山商科大学
公認ドライバー	梶 義宏	(公認No. 1142-33)

大学）は698をマークして宮田と10ピン差に迫った。さらに5ピン差で石川が続き、内藤がその5マーク差で4位まで後退したが、後半は682と打ち上げて首位を奪い返した。

決勝戦を前にして、トップは内藤の4004。石川と川上が3991、宮田は3980、以下も僅差という大混戦に発展した。1ゲーム目で川上が内藤と1ピン差まで迫り、2ゲーム目には逆転で首位に立ったが、9位通過の吉田と内藤は4626の同点で並び、シリーブローハイの差が少なかった吉田が準優勝し、内藤は3位となった。

ガイド

大学生ボウラーの個人チャンピオンを決定する全日本大学個人選手権大会。全日本学生連合および都道府県連盟に所属する大学生選手が出場でき、今大会には251名が集まった。

予選・準決勝・決勝を通じて21ゲームを競技。予選（12ゲーム）は男子が上位48名、女子は上位24名が通過。準決勝（6ゲーム）は男子上位24名、女子上位12名が決勝戦に進出し、トーナメント方式で順位を決定する。

予選トップの意地見せた！

ナゴヤクラブ (愛知) 初V

第44回 全日本クラブ対抗選手権大会

第44回全日本クラブ対抗選手権大会が1月22日(金)から24日(日)にかけて、大阪・イーグルボウルで開催された。全国各地から96クラブチームが、その頂点を目指して参戦。予選をトップ通過したナゴヤクラブ(愛知)が決勝戦でも接戦を制して初優勝を果たした。

開 会 式

平成28年になって最初の協会主催大会となった全日本クラブ対抗選手権。開会式は1月22日(金)12時55分から挙行政

れた。前回大会優勝の岐阜クラブ(岐阜)より優勝旗が返還されて、開幕の準備が整った。

吉岡英隆協会常務理事が主催者を代表して挨拶し、競技

大阪府代表・関大前FUTABAクラブの中野麻希選手が選手宣誓を行い、開会式を滞りなく終了した。



吉岡常務理事



関大前FUTABAクラブの中野選手が宣誓

予 選

5人チーム戦で争ったこのクラブ王者決定戦は、総勢504名もの選手が集まるビッグな大会。日頃慣れ親しんだ仲間同士のチーム編成で、真剣な中にも楽しむ雰囲気を感じられる大会となった。

予選1回戦はベーカー方式で8ゲーム。大田クラブ(東



入賞チーム

決 勝 戦

決勝戦に予選のスコアは持ち込まれず、ベーカー方式のマッチゲームを重ねて最終順位を競い合う。24位通過した古川橋クラブA(大阪)がスタートで257をマークしてト

ッピに立ったように、優勝の行方が見えないスリリングな状況を生み出した。とはいえトップ通過のナゴヤクラブもしっかりと実力を見せつけてスタートから4連勝し、ラウンドロビンの前半5ゲームを

終えた時点でA組のトップに立った。

6ゲーム目にはスエヒロクラブ(徳島)が290をマークして逆転したが、ナゴヤクラブも266、259と立て続けにビッグゲームをマークして一歩も譲らない。この2チームの熾烈なトップ争いはラウンドロビン終了まで続き、ナゴヤクラブが2688で1位を守るも、スエヒロクラブは15ピン差でラスト2ゲームを迎えることとなった。

一方Bグループはツモクボウリングクラブ(岡山)が連勝街道をひた走り、6ゲーム目には279をマークして一歩抜け出したが、後半に入ってから低くても230UPの好ゲームを連発した和歌山クラブ(和歌山)が徐々に追い上げて逆転。全体3位の2640をマークした。

ラスト2ゲームはA/Bグループの同じ順位のチームが対戦する。1ゲーム目は和歌山クラブがナゴヤクラブを相手に勝利を奪い、20ピン差まで詰め寄った。スエヒロクラブはB組2位のフタバクラブB(大阪)に敗戦したが、和歌山クラブとナゴヤクラブは13ピン差で全体3位。優勝争いが3チームにしばられて迎えた最終ゲームは、ナゴヤクラブが236で快勝し追撃

4名が達成

第44回全日本クラブ対抗選手権大会において4名の選手がパーフェクトゲームを達成した。

●大会第29号 山田博之選手(愛知県)

●大会第30号 山内博之選手(大阪府)

●大会第31号 今原伸幸選手(神奈川県)

●大会第32号 水 上 悟 (北海道)

●大会第28号 牧野将治選手(埼玉県)

●大会第27号 山内博之選手(愛知県)

●大会第26号 山内博之選手(愛知県)

●大会第25号 山内博之選手(愛知県)

●大会第24号 山内博之選手(愛知県)

●大会第23号 山内博之選手(愛知県)

●大会第22号 山内博之選手(愛知県)

●大会第21号 山内博之選手(愛知県)

●大会第20号 山内博之選手(愛知県)

●大会第19号 山内博之選手(愛知県)

●大会第18号 山内博之選手(愛知県)

●大会第17号 山内博之選手(愛知県)

●大会第16号 山内博之選手(愛知県)

●大会第15号 山内博之選手(愛知県)

●大会第14号 山内博之選手(愛知県)

●大会第13号 山内博之選手(愛知県)

●大会第12号 山内博之選手(愛知県)

●大会第11号 山内博之選手(愛知県)

●大会第10号 山内博之選手(愛知県)

●大会第9号 山内博之選手(愛知県)

●大会第8号 山内博之選手(愛知県)

●大会第7号 山内博之選手(愛知県)

●大会第6号 山内博之選手(愛知県)

●大会第5号 山内博之選手(愛知県)

●大会第4号 山内博之選手(愛知県)

●大会第3号 山内博之選手(愛知県)

●大会第2号 山内博之選手(愛知県)

●大会第1号 山内博之選手(愛知県)

●大会第0号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-1号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-2号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-3号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-4号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-5号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-6号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-7号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-8号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-9号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-10号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-11号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-12号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-13号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-14号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-15号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-16号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-17号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-18号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-19号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-20号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-21号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-22号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-23号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-24号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-25号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-26号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-27号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-28号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-29号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-30号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-31号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-32号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-33号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-34号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-35号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-36号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-37号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-38号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-39号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-40号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-41号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-42号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-43号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-44号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-45号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-46号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-47号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-48号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-49号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-50号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-51号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-52号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-53号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-54号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-55号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-56号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-57号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-58号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-59号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-60号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-61号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-62号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-63号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-64号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-65号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-66号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-67号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-68号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-69号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-70号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-71号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-72号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-73号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-74号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-75号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-76号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-77号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-78号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-79号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-80号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-81号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-82号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-83号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-84号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-85号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-86号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-87号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-88号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-89号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-90号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-91号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-92号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-93号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-94号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-95号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-96号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-97号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-98号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-99号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-100号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-101号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-102号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-103号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-104号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-105号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-106号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-107号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-108号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-109号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-110号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-111号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-112号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-113号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-114号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-115号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-116号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-117号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-118号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-119号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-120号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-121号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-122号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-123号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-124号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-125号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-126号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-127号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-128号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-129号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-130号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-131号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-132号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-133号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-134号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-135号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-136号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-137号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-138号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-139号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-140号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-141号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-142号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-143号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-144号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-145号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-146号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-147号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-148号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-149号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-150号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-151号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-152号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-153号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-154号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-155号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-156号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-157号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-158号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-159号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-160号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-161号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-162号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-163号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-164号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-165号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-166号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-167号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-168号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-169号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-170号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-171号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-172号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-173号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-174号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-175号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-176号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-177号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-178号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-179号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-180号 山内博之選手(愛知県)

●大会第-181号 山

札幌市役所初優勝



三冠狙うエナジックを撃破

実業団3大会の今季最終戦となった都市対抗。27年度は新規参入のエナジックインターナショナル(沖縄・北谷町)がここまで2タイトルを独占し、グランドスラム達成もかかるとあって、優勝候補の筆頭に挙げられた。

その予想を裏切らず、エナジックインターナショナルは予選1回戦からトップに立った。全チーム中、唯一2700台の高スコアをマークして流石と言われたが、2位の札幌市役所B(北海道・札幌市)はわずか34ピン差、3位の東京都実業団OBクラブ(東京・港区)も41ピン差で続いた。

2回戦では札幌市役所Bがチームハイシリーズとなる2756をたたき出してエナジックインターナショナルを逆転し、64ピンのリードも作った。エナジックインターナショナルは2位に留まり、3位には北陸電力(富山・富山市)が浮上した。4位につけていた金沢市役所A(石川・金沢市)はトップとイーワピン差をつけられたが、上位陣



2位、3位に北陸電力と続き、上位24チームがベーカー方式での決勝戦へ進出した。スコアをリセットして迎える決勝戦、Aグループに入った金沢市役所Aはいきなりのローゲームで厳しい滑り出しとなった。5位で通過した札幌市役所Bは対照的に267の好発進を見せると、ラウンドロビンの前半6ゲームを終えた時点で4勝を上げて1410とした。

2位につけたJFE東日本(千葉・千葉市)は5勝し、トップと10ピン差、さらに5ピン差でアルプス電気浦谷工場A(宮城・遠田郡)が続く。直後の7ゲーム目に札幌市役所Bとアルプス電気浦谷工場AはそろってスコアUPし、その後は熾烈なトップ争いを展開。ラウンドロビンを終えてグループ首位は札幌市役所Bの4998、アルプス電気浦谷工場Aが34ピン差の2位につけた。

Bグループは海上自衛隊(広島・呉市)が4ゲーム目の279で混戦を抜け出し、6ゲーム終了時点で14

25とし、いよいよ自動車(神奈川・藤沢市)が32ピン差で追う展開。エナジックインターナショナルはビッグゲームをマークするも勝ち星には恵まれず4位につけていたが、後半戦は見事にギアチェンジ。5ゲームすべて勝利して全体トップとなる5048までスコアを伸ばした。

いよいよ冠がと大注目を集めながら始まったポジションマッチは、期待以上の熱戦に突入した。1ゲーム目227にまでとめたエナジックインターナショナルに対し札幌市役所Bはそれを上回る249

年間3本ある実業団全国大会のうち、最終戦として行われているのが都市対抗選手権。3人チーム戦の全日本実業団選手権(6月開催)、5人チーム戦の実業団選手権(11月開催)と異なる4人チーム戦で行われるスコア、上位24チームが

予選を通過し、スコアをリセットした上で決勝戦をスタートする。24チームは2つのグループに分かれてラウンドロビン(総当たり戦)を行ったあと、各グループの同順位チームがポジションマッチ2ゲームを行う。各ゲームの勝利チームに与えられるポイント20点とスコアの合計で順位を決める。

予選を通過し、スコアをリセットした上で決勝戦をスタートする。24チームは2つのグループに分かれてラウンドロビン(総当たり戦)を行ったあと、各グループの同順位チームがポジションマッチ2ゲームを行う。各ゲームの勝利チームに与えられるポイント20点とスコアの合計で順位を決める。

第33回全日本実業団都市対抗選手権大会は2月5日から7日にかけて千葉・VEGA Aアサヒボウリングセンターで開催された。全国50都市、76チームが出場して、ベーカー方式の決勝で優勝を争った。

札幌市役所(北海道・札幌市)が年度3冠を狙うエナジックインターナショナル(沖縄・北谷町)を直接対決の末に破り、自治体としてうれしい「都市対抗」のタイトルを獲得した。

主催者挨拶で選手を激励し、会場のVEGA Aアサヒボウリングセンター・櫻田大喜総括マネージャーより歓迎のことばをいいただいた。

競技規程説明と審判団の紹介に続き、千葉・千葉市代表のJFE東日本チーム、佐藤貴夫選手が力強く選手宣誓し、大会が開幕した。



JFE東日本佐藤選手の選手宣誓

ベーカー方式チームH/G 金沢市役所A(左) & 海上自衛隊



第33回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会成績表

参加：50都市 76チーム 342名
平成28年2月5日(金)～7日(日)
会場：千葉・VEGAアサヒボウリングセンター

《4人チーム戦(決勝ベーカー方式)》			
優勝	札幌市役所B (北海道・札幌市)	滝本宗彦・古賀直美 谷川重博・大井川国雄	3,057(180)
準優勝	エナジックインターナショナル (沖縄・北谷町)	儀間光博・石嶺可奈子 幸喜将太・村濱裕紀	3,017(140)
第3位	いすゞ自動車 (神奈川・藤沢市)	田辺昇・石井壮 田崎進・川田光一	2,972(180)
第4位	海上自衛隊 (広島・呉市)	松林洋幸・山根浩 作田孝之・武知祥平	2,960(180)
第5位	アルプス電気浦谷工場A (宮城・遠田郡)	富谷頼行・吉田千佳子 吉田亮・林田光雄	2,958(120)
第6位	日産自動車九州 (福岡・京都郡)	渡邊翔・和田一郎 奥田広儀・柿原博	2,939(180)
デューアム方式 チームハイゲーム	札幌市役所B (北海道・札幌市)	滝本宗彦・古賀直美 谷川重博・大井川国雄	1,001
ベーカー方式 チームハイゲーム	海上自衛隊 (広島・呉市)	松林洋幸・山根浩 作田孝之・武知祥平	279
ベーカー方式 チームハイゲーム	金沢市役所A (石川・金沢市)	奥村一世・松原真珠 中倉啓太・清水正弘	279
チームハイシリーズ	札幌市役所B (北海道・札幌市)	滝本宗彦・古賀直美 谷川重博・大井川国雄	2,756
個人ハイゲーム	鈴崎浩二	JFE福山(広島・福山市)	300
個人ハイゲーム	深澤一敏	ユニプレス(静岡・富士市)	300
個人ハイシリーズ	深澤一敏	ユニプレス(静岡・富士市)	835



鈴崎浩二		パーフェクト	
使用ボール	PRO-am Limited Invader(16p)	広島県	56歳
公認ドライバー	小田 崇 (公認No. 1119-34)		
深澤一敏		パーフェクト	
使用ボール	Revolt Purple(Havoc)(16p)	静岡県	23歳
公認ドライバー	大澤義樹 (公認No. 0543-21)		

第33回全日本実業団都市対抗選手権大会において鈴崎浩二選手(広島・JFE福山)と深澤一敏選手(静岡・ユニプレス)が大会第13・14号となるパーフェクトゲームを達成し、協会の主催大会公認第33回2013年パーフェクトゲームとして認定された。

TOP BOWLER

vol.104 自分のボウリングをする



つつみ・ゆうき 25歳 大和ガス(株)所属 京都産業大学時代に頭角を現し、NHK杯3位、全日本大学個人選手権優勝(ともに2012年)などの実績を上げる。卒業後も精力的に競技活動し、2015年のナショナルチーム選考会で念願のメンバー入りを果たし、全日本年齢別選手権、20歳代の部で初優勝を飾った。

年齢別選手権では1回戦からトップを守り抜きました。優勝の要因はどこに?「周りの選手の点数、自分の点数を気にせず、自分のボウリングをする事だけを心掛けていました。調子の悪い時ほど点数を気にして焦って力が入ってくるので、そうならないように注意していました。1月に行われたナショナルチームのウィンターキャンプに参加させて頂いて、自分の足りない所、改善点を数多く見つける

事が出来ました。それに取り組んだ事がこの結果に繋がったのだと思います。またメジャー変更をしたのも要因の1つだと思います。」ナショナルチームに選ばれて1年間で成長を実感した点は何?「最も成長できたのはメンタル面だと思います。ナショナルチームに入り常に見られている意識もあり、点数を出して当然と思われている中で調子の波に関係なく自分のボウリングをどうすればいいのかを考える事が非常に多かったです。自分の長所はコントロールや安定性だと思うので、どんなコンディションでもコンスタンスに点数を出していけるとと思います。今後はその点数を高い位置でキープしていけるようにするのが課題でもあります。」

このあと国内の2大タイトルが控えています。意気込みと今後の目標を...「全日本選手権は6位、NHK杯は準優勝が最高位です。今年の目標はもちろんどちらも優勝する事です。今年はアジア選手権がありますので、代表メンバーに選ばれるよう結果を残し、そして金メダルを持って帰る事が目標です。また次のアジア競技大会までに更にレベルアップをして、メンバーに選ばれメダルを獲得したいと思います。」

堤 祐樹さん(奈良県)

JBCのwebサイト

が新しくなりました



JBCの公式webサイトが2月からリニューアル。協会主催大会のテクニカルな情報やイベントのご案内を随時発表する「トピックス」、会員や指導者の方に向けた情報を集めた「インフォメーション」などのコーナーが新設されました。各種大会やナショナルチーム紹介などのデータベースページもシンプルで見やすいレイアウトになり、より利用しやすい生まれ変わりました。

1月に開設した公式Facebookページとの連動も強化。サイト更新情報はFacebook上でも発信していきます。JBCのwebとSNSをぜひ活用ください。

We are Team JAPAN ナショナルチーム通信 泉宗心音選手に 2つの名誉

大亀財団スポーツ賞&テレビ愛媛賞



大亀財団スポーツ賞大賞を受賞しました

全日本ユースナショナルチームメンバーの泉宗心音選手

大亀財団スポーツ賞は県内のスポーツ功労者を対象にした賞で、2014年の世界ユース選手権で女子国別総合優勝の立役者となった活躍が評価されました。2月10日(水)に行われた表彰式では記念の楯が贈られました。



記念の楯を受け取る泉宗心音選手

2017年にえひめ国体を控えている県内では、スポーツへの関心が高まっている様子。泉宗心音選手の活躍をきっかけにボウリング競技も注目を集めています。

テレビ愛媛賞は愛媛の教育文化、福祉など、あらゆる分野において貢献した方が対象で、36回目の今年は愛媛大学南予水産研究センター、世界的なハープ奏者の古佐小基史さんとともに、スポーツで活躍した人として泉宗心音選手が選ばれました。顕彰式は3月15日(火)に開催されます。

大亀財団スポーツ賞は県内のスポーツ功労者を対象にした賞で、2014年の世界ユース選手権で女子国別総合優勝の立役者となった活躍が評価されました。2月10日(水)に行われた表彰式では記念の楯が贈られました。

JBCコーチングマニュアルが完成



アスリートボウラー育成までのステップを網羅したJBCコーチングマニュアルが完成しました。全米ボウリング協会(USBC)のコーチ資格カリキュラムをもとに、全日本ナショナルチームの下地

祝寿守監督が監修。指導水準や選手の技術レベルの全国的な向上を目指して製作されました。今後、指導者のための研修事業等で活用されます。

昨年度初開催され好評の全日本ジュニア強化コーチ研修会が、今年も大阪と東京で開催されます。各都道府県におけるジュニア発掘、育成、強化に携わる指導者に向けて、一貫性のある指導方法を広めることが目的の研修会です。完成したばかりのコーチングマニュアルもテキストとして使用されます。

ジュニア強化コーチ研修会 大阪と東京で開催します



Welcome to the FLEX Generation










ファイヤー

- 粘度 45.1cps
- 表面張力 23.6dyn/cm
- 商品コード 94857 156-8135
- 商品コード 94858 156-8130
- 納入単位 1c/s(5 ガロン)

アイス

- 粘度 40.9cps
- 表面張力 23.2dyn/cm
- 商品コード 94857 156-8135
- 商品コード 94858 156-8130
- 納入単位 1c/s(5 ガロン)



公益財団法人全日本ボウリング協会

団体





JBC公式Facebookページ OPEN!

https://www.facebook.com/japanbowlingcongress/
「公益財団法人全日本ボウリング協会」で検索

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp